

| | | | | | |
|-------|--|---|--|-----|-----|
| 教科 | 介護実習 | 学科・学年 | 社会福祉科・3年 | 単位数 | 6単位 |
| 目標 | 1. 施設や事業所の地域における機能や役割について理解を深める。 2. 多様な障害種別に応じた介護の実践力を養う。 3. 利用者に関する情報を幅広く収集し、ニーズを客観的に把握する力を養う。 4. 利用者のニーズに適した介護計画を立案する能力を身につける。 5. 介護計画に従って、具体的な支援活動を展開できる実践力を養う。 6. 介護実践を振り返り、次の計画を実践につなげていく建設的な態度を身につける。 | | | | |
| 評価方法 | ・実習の出席状況 ・実習態度 ・実習記録の提出状況 ・自己評価 ・実習先からの評価や巡回する教員による評価 などから総合的に評価する。 | | | | |
| 評価観点 | 【関心・意欲・態度】挨拶や言葉遣いに留意し、利用者の尊厳を大切にする態度で、意欲的に実習に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】利用者のニーズを把握し、状況に応じた支援について考え、適切な介護を提供することができる。 【技能】基本的な生活支援の技術を身につけている。観察技法を用いて、適切に記録を書くことができる。 【知識・理解】実習先である施設や事業所、介護の業務、利用者の生活の特性を理解している。 | | | | |
| 使用教科書 | 介護総合演習（メヂカルフレンド社） | | | | |
| 使用副教材 | なし | | | | |
| 月 | 学習内容 | 学習のねらい | 学習活動 | | |
| 4 | 介護実習Ⅰ ・障害者福祉関係施設での現場実習（6日間） | <input type="checkbox"/> 知的障害あるいは精神障害がどのようなものであるかを理解する。 <input type="checkbox"/> 知的障害あるいは精神障害のある利用者の生活を理解する。 | ・実習目標、出席簿の提出 ・実習記録の提出 | | |
| 5 | 介護実習Ⅱ ・特別養護老人ホームもしくは介護老人保健施設での現場実習（21日間） | <input type="checkbox"/> 障害の特性に応じたコミュニケーション技法を習得する。 <input type="checkbox"/> 障害や利用者のニーズに合わせた支援を考え、提供する。 | ・課題（記録）の提出 オリエンテーション、反省・感想、個別援助計画 ・健康管理表の記入 ・実習項目チェックリストの記入 | | |
| 6 | | <input type="checkbox"/> 利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解する。 <input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの生活リズムや個性に応じた生活支援のあり方を考える。 <input type="checkbox"/> チームにおける各職種の役割について理解する。 | | | |
| 7 | 平成25年 4月23・24・25日 5月7・8・9日 14・15・16日 28・29・30日 6月4・5・6日 11・12・13日 18・19・20日 7月2・3・4日 9・10・11日 | <input type="checkbox"/> 介護理念や介護倫理を理解し、それを身につけている。 <input type="checkbox"/> 一連の介護過程の展開（作成、実施、評価、修正）を継続的に実施できる。 <input type="checkbox"/> 介護福祉士が介護の専門職として、どうあるべきかを体得する。 | ・自己評価 A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> | | |
| 反省 | | | | | |

| | | | |
|--------|--|--|--|
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 反 省 | | | |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 反 省 | | | |